

～あじさいの路新聞掲載～

6月7日、朝日新聞朝刊で大町自治会の「あじさいの路」が紹介されました。同新聞が連載する「東京ガーデン」より調布市の広報課に取材依頼があり、市で検討の結果、市の中で最も花壇整美に力注いでいる大町自治会のあじさいの路を推奨して頂き、6月4日に取材を受けました。

自治会のメンバーが手入れし、色鮮やかに咲き始めたアジサイは4日、調布市

東京 マイガーデン

地域の輪つなぎ続け15年
調布・あじさいの路

調布市の調和小沿いの道に、爽やかな色のアジサイが並ぶ。薄紫、白、ピンクと1000株ほど、100株以上が植えてある。地元の町自治会が15年かけて作り上げてき

カラー充実
紙面ビューアー
登録無料

た「あじさいの路」だ。「花を見た人が『きれいですね』『いつもありがとうございます』と声をかけてくれる時が一番うれしい」と、同自治会の文化環境委員長、竹之内悟さん(76)は笑顔を見せる。定年退職直前に自治会に入った竹之内さん。草花には詳しくなかったが、本を読み、アジサイで有名な長谷寺(神奈川県鎌倉市)や高幡不動尊金剛寺(日野市)などを巡って勉強している。

アジサイは、自治会の会員の家から寄せられたものがほとんどだ。アジサイを通じた交流も生まれている。毎年6月には地元の人を招き「あじさい祭」を開催。小さい子からお年寄りまで、様々な人が集うという。

自治会が高齢化が進む。竹之内さんは「ご近所つきあいでは世界は広がる。若い世代にも参加してもらえたら」と願いを込めていた。

(石川瀬里)

あじさい祭

あじさい観賞風景

